

第5回政策委員会報告

○開催日時

平成29年4月24日（金） 10時00分～12時15分

○開催場所

日本不動産鑑定士協会連合会 5階会議室

○出席者

後藤委員長、平澤委員、山田委員、金井委員、田村委員
議事参加：熊倉連合会会長、稲野邊連合会副会長、
近藤鑑政連事務局長

○議題

不動産鑑定評価制度推進議員連盟への要望について

○内容

- 熊倉連合会会長、稲野邊連合会副会長から、連合会にて検討中の不動産鑑定評価制度推進議員連盟への要望事項についての説明。今後のスケジュールとして、①5月8日の週に議連の勉強会にて、「今後の不動産鑑定評価制度の在り方に関する報告」の取りまとめを行い、②5月15日の週に、不動産鑑定士制度推進議員連盟の三役会を開催し、③5月23日に同議連の総会を予定している旨の説明。
- 不動産鑑定評価制度の持続可能性の懸念は、食えない資格であることと内部自治の話ではないのか。
 - 今回の法改正で農地の適用除外の改正は出来ても、大都市の鑑定士はあまり魅力のあるものではなく、鑑定士への義務研修など得た果実以上に鑑定士の負担が大きくなるのではないか。
 - 農地等の「等」の中には、採草放牧地、森林は入っているのか。
 - 国会議員の先生方に説明する文書については、平易な文書で要点を簡潔に書き、分かりやすく理解しやすいことが重要である。
 - 報酬の話は内部自治の話で解決できることであり、連合会としてはやれることはやったのかという質問が予想されるが、これについては何と答えるのか。
 - 不動産鑑定業界をどのような方向に持っていきたいのか具体性が見えない。
 - 「今後の不動産鑑定評価のあり方に関する報告」の提言事項については、一部修正意見を加えて、連合会に申し入れることにした。

以上